

## 原料費調整（スライド）制度に基づく2023年4月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。ご了承くださいましたので、お知らせいたします。

敬具

### 記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2023年4月検針分に適用される従量料金単価を、2023年3月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり－8円12銭（税込）調整させていただきます。なお、2023年4月検針分に適用される従量料金単価は、政府の支援（電気・ガス価格激変緩和対策事業）で、30円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされています。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m<sup>3</sup>）の場合、ガス料金は月額6,532円（税込）となり、170円（2.54%）お支払額が減少します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m<sup>3</sup>あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2022年11月～2023年1月のLNG、プロパンの平均原料価格を2022年11月の貿易統計確報値および2022年12月～2023年1月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は131,240円/t となります。2023年3月検針分のガス料金調整額を算定した2022年10月～2022年12月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2022年11月～2023年1月の実績平均原料価格は、トンあたり9,020円下降することに加え、政府の支援により、30円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされていますので、料金調整は上記のとおりとなります。

電気・ガス価格激変緩和対策事業の詳細につきましては資源エネルギー庁「電気・ガス価格激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。

[\(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/\)](https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/)

●2023年4月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2023年3月検針分の従量料金単価に対して、-8.12円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価 (1 m <sup>3</sup> あたり)	
			2023年4月	2023年3月
A	0 m <sup>3</sup> から 10 m <sup>3</sup> まで	976.80 円	296.85 円	304.97 円
B	10 m <sup>3</sup> を超え 170 m <sup>3</sup> まで	1,593.46 円	235.18 円	243.30 円
C	170 m <sup>3</sup> を超え 500 m <sup>3</sup> まで	4,690.18 円	216.96 円	225.08 円
D	500 m <sup>3</sup> を超える	10,674.18 円	205.00 円	213.12 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※2023年3月および4月の従量料金単価は、政府の支援により、30円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされています。

●2023年4月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21m<sup>3</sup>）の場合

2023年4月適用料金 (a)	2023年3月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,532 円	6,702 円	-170 円	-2.54%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年～2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m<sup>3</sup>）

	2022.11～2023.1	2022.10～2022.12	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計値)	132,510	141,670	42,480
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	88,150	92,810	39,600
平均原料価格(LNG換算)	131,240	140,260	42,520

■2022年11月～2023年1月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9645 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0390 \\
 &= 132,510 \text{ 円/t} \times 0.9645 + 88,150 \text{ 円/t} \times 0.0390 \\
 &= 131,243.745 \text{ 円/t (10円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{131,240 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 131,240 \text{ 円/t} - 42,520 \text{ 円/t} \\
 &= 88,720 \text{ 円/t (100円未満切捨て)} \\
 &= \underline{88,700 \text{ 円/t}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \{ \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times (1 + \text{消費税率}) \} - \text{政府の支援による値引き} \\
 &= \{ 88,700 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times 1.10 \} - 30 \text{ 円} \\
 &= 80.0074 - 30 \\
 &= \underline{50.00 \text{ 円/m}^3}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.0902(0.082×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

※政府の支援により、30円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされています。

	2023年4月	2023年3月	増減
調整額 (円/m <sup>3</sup> ・税込)	+50.00	+58.12	-8.12

以上